

令和5年度 奈良商工会議所青年部
提言書

奈良の伝統と未来への開拓
～活気ある奈良のイベントのために～



奈良商工会議所青年部

ご挨拶

平素より奈良商工会議所青年部（以下「奈良Y E G」）の活動に多大なるご理解とご協力を賜りありがとうございます。

奈良Y E Gは、昭和52年の創立以来、地域社会における経済の発展と福祉の増進を図る商工会議所の一翼を担うべく、また愛する地元奈良の未来の永続的な発展のために様々な活動を行ってまいりました。

その活動の一環として、奈良市職員の皆様と奈良Y E Gメンバーとの意見交換会の場である「風会議」を、平成22年度から14年間にわたり継続して開催させていただいております。また平成25年度に初めて提出させていただきました奈良Y E Gから奈良市への提言書は、令和元年から今年度で5年連続の提出となりました。そうした中で、令和4年3月に策定されました奈良市第5次総合計画のヒアリング団体として参画させていただきましたことは、私たちにとっても大きな励みになっております。

今後も継続性を持ち続けることが、地域の次代を背負う青年経済団体としての責任であり、また地域に愛され必要とされる団体であり続けるために重要なものであると考えております。

今年度の奈良Y E Gは「WE ARE 奈良Y E G～伝統と誇りを胸に変革への挑戦～」をスローガンとして掲げ、第11回目を迎えましたなら奈良まつりと併設する形で、奈良市のビジネス展示会と伝統文化の体験を目的とした「NARABIZ FESTA2023」を奈良県コンベンションセンターにて開催させていただきました。私たちは青年経済団体として今後も経済と文化の発展に寄与してまいります。

さて、今年度の提言は「平城宮跡新駅の設置による利便性向上と新しいモビリティの導入」と「佐保川桜祭り（仮）の開催」という2つのテーマを掲げさせていただきました。本提言は、観光だけにとらわれず、地域の住民の皆様にとっても有意義なものになると確信しております。長文となりますが最後までお目通しいただきましたら幸いです。

また、本提言が私たち奈良市の経済的発展の支えとなり、ひいては市民の皆様が豊かな生活を送るための一助となれば幸いです。

結びに、本提言書作成にあたり、これまでご指導、ご協力を賜りました各方面ご関係者の皆様に感謝と御礼を申し上げご挨拶とさせていただきます。

奈良商工会議所青年部
令和5年度会長 中村 守

奈良商工会議所青年部 令和5年度提言書

目次

◆ご挨拶	・・・ 1
◆はじめに	・・・ 3
◆提言	
① 平城宮跡新駅の設置による利便性向上と 新しいモビリティの導入	・・・ 4
② 佐保川桜祭り（仮）の開催	・・・ 9
◆あとがき	・・・ 14

はじめに

奈良Y E Gは平成25年度から現在に至るまで、奈良市の発展のために政策提言を実施してきました。今年度は、中村会長が掲げるテーマ「WE ARE 奈良Y E G～伝統と誇りを胸に変革への挑戦～」のもと、今年度は特に観光資源を活かして地域の活性化に寄与することを焦点に当てようと考えました。これまでの政策提言を振り返り、その経験を活かして新たな展開を模索しながら、行政との定例意見交換会を開催し、意見の交換を通じて具体的な施策を練り上げ、持続可能な地域発展の促進を目指します。

また、例会を初めて奈良市役所の正庁で行い、多くの行政職員様の積極的なご参加のもと、提言活動に対して高い関心を持っていただきました。提言の重要性が認識されており、その価値が確実に高まっていると同時に、近年奈良Y E Gメンバーの意識が高まっていることが感じられます。7月に実施した奈良Y E Gメンバーアンケートからは、「平城宮跡の新駅設置」に対する多くの関心がありました。これは地域発展の鍵が平城宮跡にあり、そのアイデアのブラッシュアップが求められています。今回の提言においても、メンバーの提案が加えられ、その重要性を改めて認識しています。

また、J R新駅設置に伴い新たな春のイベントの創出が地域の活性化に役立つと考えます。その中で今回候補地として選んだのが佐保川の桜であり、桜祭りを通じて行政、民間、地域が協力し、経済団体との連携を深めることで、持続可能な発展と地域コミュニティの強化が期待できます。桜を最大限に活かし、未来への良好な連携を築くことが提言の焦点です。

最後までご一読頂き、ご理解いただきますよう心からお願い申し上げ、はじめの挨拶と致します。

提 言 委 員 会
委員長 角谷 昇英

提言①

平城宮跡新駅の設置による利便性向上と新しいモビリティの導入

令和元年度奈良商工会議所青年部提言書「奈良の未来に向けて」で、平城宮跡内新駅設置による新たな魅力創造並びに利便性の向上を一度提言していますが、今年度はこの内容を再度考えます。

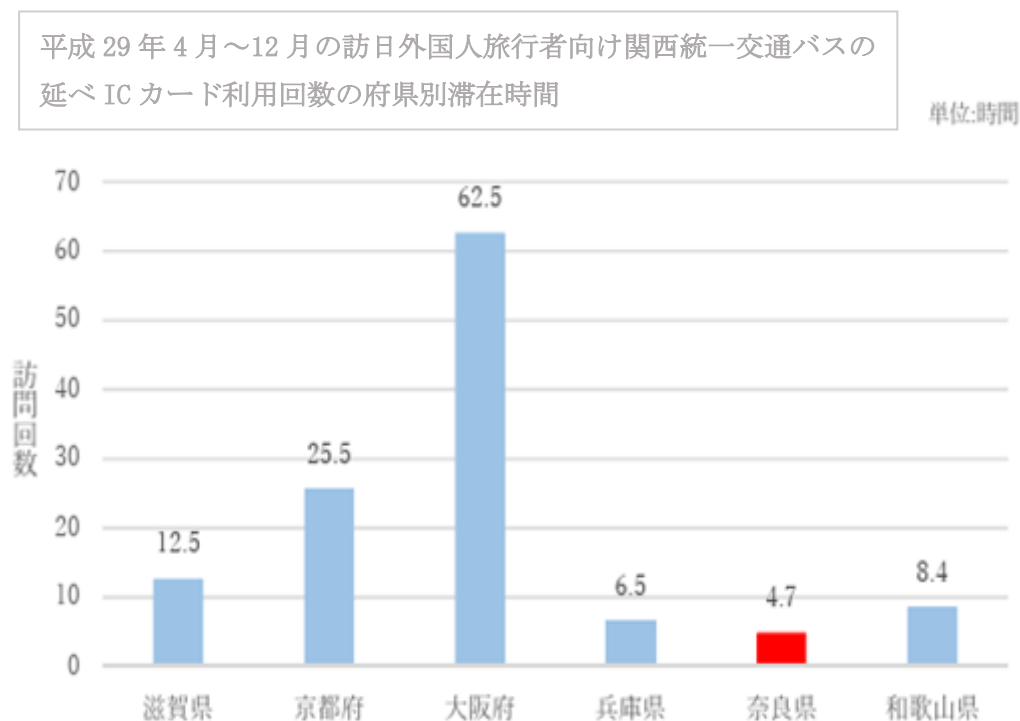
平城宮跡は国営公園として整備が進み、平成30年に朱雀門ひろばの一部供用が始まりました。その後、新技術を活用した「パークスマートチャレンジ」が開始され、南門である大極門も完成しました。令和5年には南側地区や歴史体験学習館の整備計画が公表され、魅力向上が進んでいます。



令和5年3月策定 平城宮跡歴史公園南地区整備計画より

奈良YEGは、全体事業として奈良市の多大なご支援のもと、「なら奈良まつり」を平成23年から主催し、コロナ禍でWEB開催もありましたが、平城宮跡で11回行っています。そのため非常に親しみのある場所とも言えます。長年、平城宮跡を利用し、イベントをやってきた我々奈良YEGだからこそ提言ができると考えています。

奈良YEGメンバーに対して実施した平城宮跡に関するアンケート調査では、「インフラ不足」、「駐車場の不足」、「アクセスの悪さ」といった意見が昔から挙がっています。整備計画によって駐車場・駐輪場が増えることは喜ばしいですが、より多くの老若男女が安全に訪れることができる観光資源やイベント会場となるためには、やはり駅が必要不可欠であると考えます。平城宮跡歴史公園の課題でもある、年間を通じた定期的な朱雀門ひろばの活用も、駅ができることでイベント開催が大幅に増えて活発になります。また平城宮跡内の新駅は、奈良市にある世界文化遺産の8つの構成資産の中でも、西側に3つ位置する薬師寺、唐招提寺、平城宮跡と、その他のお寺を巡るための拠点になるポテンシャルを秘めています。奈良市観光の課題として平成30年公表の訪日外国人旅行者の関西の府県別滞在時間の分析によると、奈良県が約5時間と最小であった滞在時間を少しでも延ばすことに貢献できると考えます。



出典：国土交通省「訪日外国人旅行者向け 関西統一交通バスのデータ分析結果」

また平城宮跡においては、奈良のまちづくりにおけるスマートシティ実現に寄与するとともに、公園の飛躍的な魅力向上を目指す産学官連携による「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ」の社会実験が進んでいます。広い平城宮跡には、園内の移動手段として、レンタサイクル等がありますが、高齢者や体の不自由な方等の利用は困難という課題があります。また、復元建物や屋内施設の展示解説による歴史学習の環境整備が進んではいますが、現地で歴史を体験するという機会が不足しているという課題もあります。移動やVR歴史体験ができるモビリティを公園内で走らせることにより、利便性と付加価値を更に高めることができると考えます。こちらは平城宮跡歴史公園が主体の取り組みではありますが、行政もより一層の周知やPRを行い、早期実現に向けての協力をお願いいたします。

2. 今年度の取組状況 | 新技術の活用

平城宮跡歴史公園
Nara Palace Site Historical Park

公園の飛躍的な魅力向上や奈良のスマートシティ実現を目指し、**新技術を活用した社会実験**を展開。

自動運転車両を用いた園内周遊サービス（モビ）



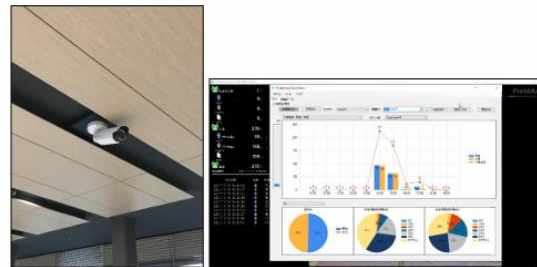
園内を周遊しながらのVR歴史体験サービス（凸版印刷）



Wi-Fi通信環境を活用した人量解析
および園内外の回遊促進イベント（NTTドコモ）



カメラを用いた人流解析（NEC）



令和4年2月14日開催「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ」取組み状況

具体的内容

① 平城宮跡に駅を設置する

奈良県は過去、景観改善や周辺の交通渋滞緩和を目的に近鉄奈良線の移設計画を進めてきましたが、莫大な費用がかかる一方で、利用者にとっては、移設による迂回のため所要時間が増えることはメリットがなく、また電車が平城宮跡を通ることは観光資源となるのでデメリットではないと、計画を大幅に見直すことに変更しました。線路が横切るままになり車窓を観光資源と考えているのであれば、改めて駅を設置し乗降できるようにすれば、更に観光客の感動の源泉



平城宮跡新駅の簡単なイメージ

になると考えます。勿論、規制が厳しく難しいのは承知していますが、例えば新大宮駅のようにプラットホームと改札だけの簡易な駅とし、遺跡に配慮すれば、既に建設されている施設と比べても遺跡への影響は少なくなります。

電車の運行については、平日は1時間に1回、土日祝は1時間に2回の停車とし、停車の回数を少なくし価値を高めます。そして、駅ができれば様々な方が訪れるので外国人のためにも、案内看板や説明を多言語に対応できるようにするべきです。駅ができることにより朱雀門ひろばへのアクセスが非常に便利になり、今まで以上のイベントが開催され、それにより来場者も増大できます。また、そこからアクセスのよい法華寺、海龍王寺を巡るための拠点としての機能が期待されます。現時点では平城宮跡から薬師寺、唐招提寺へ行くためのバスはありませんが、駅ができれば、例えば土日だけ周遊バス（ぐるっとバス）の運行コースを唐招提寺まで延ばす



らくらく奈良めぐり「ぐるっとバス ルート」

見直しの声が高まる可能性もあります。利便性の向上によって旅行観光客の目的が増えれば滞在時間が長くなるため、それに伴う観光消費額の増加が期待でき、メリットは大きいと考えます。

② 新しいモビリティで平城宮跡を巡る「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ」の実現に対する協力

平成31年3月からスタートした、国土交通省都市局が奈良県で取り組んでいる「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ」では、公園の飛躍的な魅力向上や奈良のスマートシティ実現を目指し、新技術を活用した社会実験を行ってきました。中でも自動運転車両を用いた園内周遊サービスや、モビリティと連携したVR技術を使った歴史体験・解説サービスは、ゆったりとしたペースで景色を楽しみながら歴史体験と学びができ、更に安全かつ効率的な移動手段としても利用できるという新しい付加価値をつけるものであることで、ぜひ奈良市としても様々な面から協力をしていただきたいと考えます。しかし、現在の状況を確認したところ自動運転車両を使ったサービスなどは、運営をするにあたって各1台につき、前後に警備員を1名ずつ配置する必要があるため、踏切を渡る際には手動運転に切替えなければならないといった条件があるために実現が困難になっているとのことです。

自動運転が難しいのであれば、有人運転のモビリティへと切替えるべきであり、例えば奈良市も協力してイベントなどで自動運転のモビリティをPRすることで、認知度を向上させ平城宮跡歴史公園と共にスマートシティに対する取り組みを様々な方へ発信することで、実現に向かうことを期待します。

駅の設置と、モビリティの2つの内容を実現するため、国、県、平城宮跡歴史公園に対して我々奈良YEGと共に働きかけを行っていただきますよう奈良市へ要望いたします。



自動運転車両を用いた園内周遊サービスの様子

提言②

佐保川桜祭り（仮）の開催

佐保川は、船橋商店街から大和郡山市まで約5キロにわたり1100本の桜並木が続く万葉集にも詠まれた桜の名所であり、奈良県景観資産にも登録されています。地元の人々に長年愛されているが、観光客は比較的少なく、知る人ぞ知る隠れた名所となっています。その佐保川東側に、令和11年の年度末までにJR新駅が開業予定となっています。奈良市、奈良県が八条・大安寺周辺地区まちづくり基本計画事業により、JR新駅を拠点として新産業創造のための企業誘致等に尽力いただいているのは非常に心強く感じます。しかし、今回はJR新駅の役割を佐保川の桜を目的に来た観光客のおもてなしのためという視点で提言します。

現在開催されている桜祭りは、下長慶橋からJR佐保川鉄橋間の「佐保川・川路桜祭り」と、奈良県立図書情報館正面入り口前広場の「さくらマルシェ」が確認されます。この2つは場所が離れていることもあってか、一体感に少し欠けていると感じます。佐保川の桜という素晴らしい観光資源の魅力を最大限引き出せていないという問題がありますが、そのすぐ近くに新しい駅ができるタイミングをきっかけに、近鉄新大宮駅からJR新駅までのエリア全体で佐保川桜祭りが行えるような整備をし、広報の充実を行うべきだと考えます。



桜の本数が奈良市最多の「佐保川」

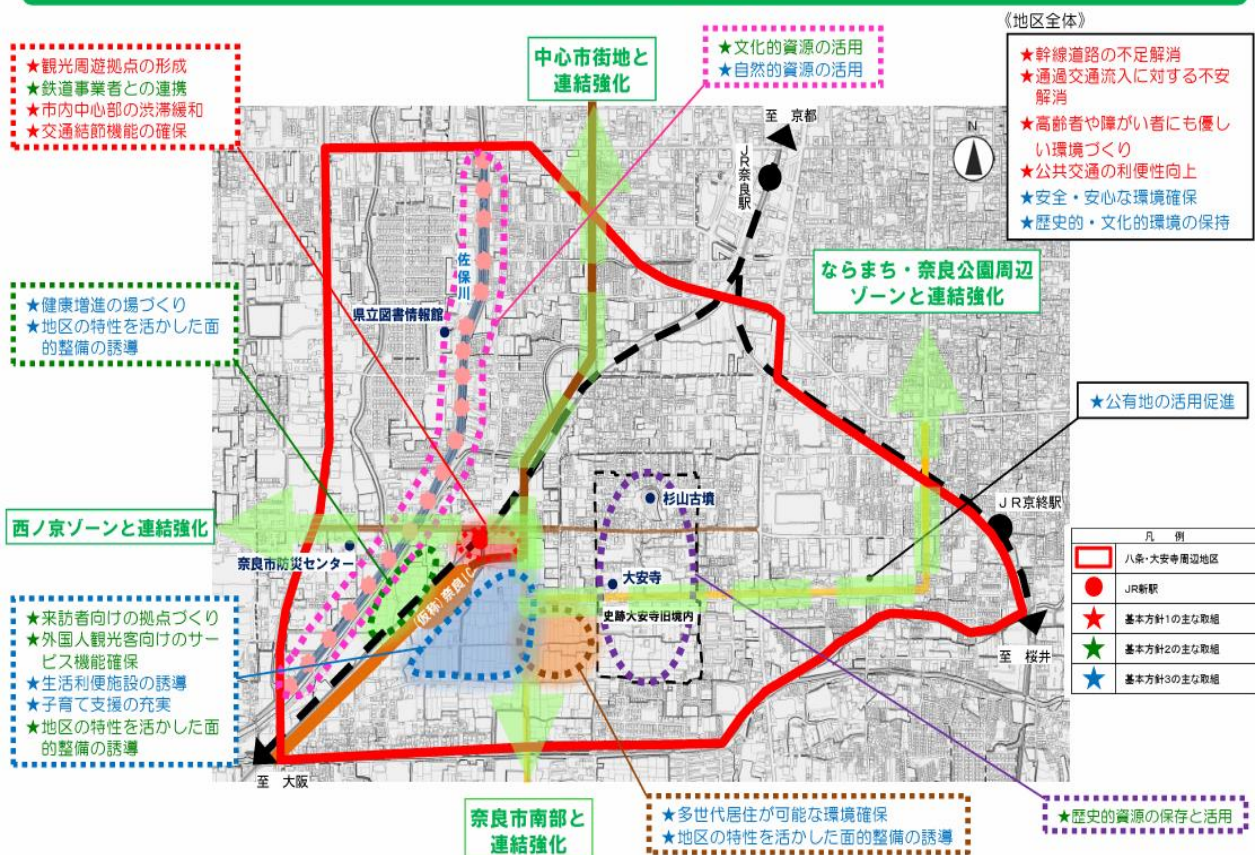
具体的内容

① J R新駅周辺を桜祭りのために整備する

奈良市は、J R新駅の西口広場整備事業としてバスやタクシーの乗用車乗降場等の整備を行うとのことですが、それに加えて桜祭りやイベントで使うことができるスペースを確保していただきたいです。計画上広場内が困難であれば、新駅から佐保川に出る公道の幅員を広くし、奈良市が桜祭りを主催することにより、桜の季節はキッチンカーの駐車ができるような対応をお願いしたいです。

また、桜祭りを行うのであれば、メインステージを設置できるスペースを確保すべきで、もし現在J R新駅周辺に公園を設置する計画があれば、その場所にステージを組むことが可能です。また、トラックの搬入搬出が容易にできる整備を要望いたします。ステージイベントができるある程度の広さがあれば、例えば我々のような青年経済団体が中心となって何かイベントを開催することも可能になり、奈良をより一層盛り上げることができると思います。

7. まちづくり構想図



平成29年6月 八条・大安寺周辺地区まちづくり基本構想

さらに広報として奈良市が、佐保川土手を下りて桜を楽しめる場所や、公衆トイレ・コンビニ、既存の祭りの開催場所を1枚に載せた「桜マップ」を作製することで、佐保川の知名度と観光客利便性の向上が高まるので、ぜひ検討をしていただきたいと思います。今後奈良市を訪れる外国人観光客数が増えるのは確実であり、満足していただくためにも「桜マップ」と駅前案内サインなどは多言語に対応したものにする必要もあります。

天理さくらウォーク

おやさと桜MAP

***** ルート所要時間 約1時間40分 ※見物時間は除く

- 近鉄天理駅
- JR天理駅
- Start
- Go!!
- アケダ入口
- コファアン
- 天理大学本部
- あみだ堂
- テンプルセンター
- 天理教本部
- NANKAN
- P
- 北大馬
- VIVANT
- 南校舎
- 天理大学
- 山辺の道
- 石上宮
- 天理高等学校
- 天理市庁舎
- 緑屋大塚
- あま所
- 天理教会本部

☆ヤマザクラ 4月中旬

満咲きの桜。白い花と若葉が周囲に開くのが特徴で、古くから和歌に詠まれています。

☆ハセザクラ 4月中旬

満咲きの桜で観花期間は長め。花弁は多く、ボリュームある花を覗かれます。

☆エドヒガンザクラ 3月下旬

花は一重で薄紅色。名前の通り、春の彼岸ごろに花を覗かせ、長寿の木として知られています。

☆プリンセス 3月下旬

皇太子妃雅子様のご成婚を記念して作られた品種。花弁は一重の美しいピンク色で、サイズが大きく、その重さでうつむき加減に咲くのが特徴です。

☆布留川河川敷 3月下旬～4月初旬

ソメイヨシノ、ペニングレザクラ、陽光ザクラなど5種類の紅白の花、数十本が一斉に開花します。陸橋からの展望がお勧めのビューポイントです。

☆アメミザクラ 3月初旬～下旬

日本列島で最も早く咲く桜で、インド原産の家来種。開花期間は1か月以上と長く、淡いピンク色の一重の花を覗かれます。

☆シンダレザクラ 3月下旬～4月上旬

3本のシンダレザクラは天理の「桜の館」。丸太と竹で組まれた支柱で枝を支えることで、大きく成長しました。木々の一面に花が咲くさまは圧巻です。別荘などといわれる神威のお話を伝える施設に隣接していますことから、見学する際は、お気軽にお越しください。

☆ソメイヨシノ 3月下旬～4月初旬

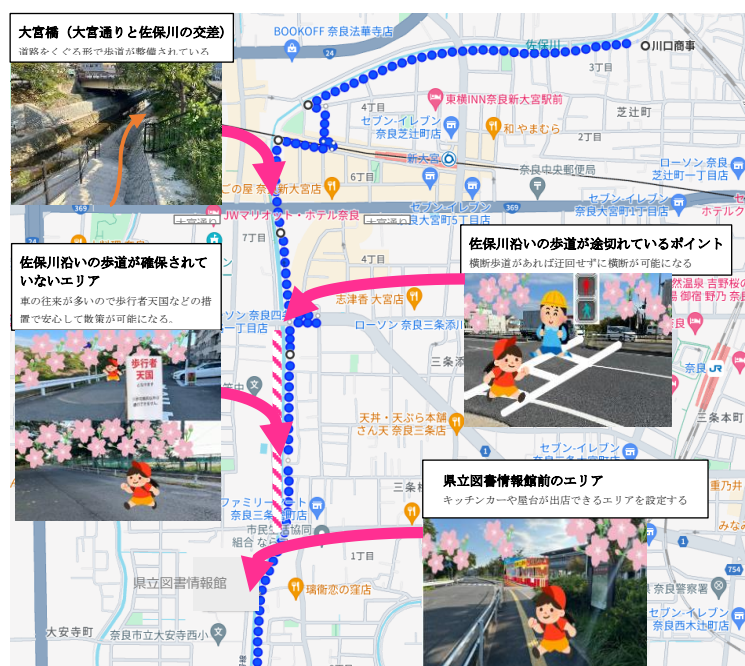
日本を代表する品種。境内内をはじめ各所に植えられています。

11

③ 佐保川沿いの遊歩道の整備

J R新駅の西側から新大宮駅の西側までの佐保川には約2キロにわたって桜並木が続いています。その間の遊歩道や川土手の整備は進んでおり、例えば大安寺西小学校の前は、川土手を安全に下りて、飛び石伝いに対岸へ移動することもできます。しかし、桜祭りを開催し佐保川の桜を観光資源とするのであればJ R新駅から新大宮駅までの区間だけでも、桜並木のある遊歩道や川土手を通り、安全に歩けるようにするべきであると考えます。現状では遊歩道がない所があるので、桜祭りの期間だけでも横断歩道が必要です。現在、369号線（大宮通り）は、歩行者が国道369号に出る前に、川土手を階段で下りることができるようになっており、道路の下をくぐって安全に桜を見ながら直進することができます。最終的には、遊歩道と土手の下の道だけで佐保川沿いを歩くことができるように整備をお願いいたします。河川整備は奈良県の管轄ですが、奈良市も奈良県と協力しながら遊歩道の整備を行っていただきたいです。桜が見頃の期間には、道路の一部を歩行者天国にし、屋台やキッチンカーの出店ができることが理想ではありますが、まずはJ R新駅から新大宮駅の導線をしっかりと整備する必要があります。

桜祭りの開催が、今まで以上に観光客を引き寄せ、J R新駅の乗降客の増加につながり、地元の商店や飲食店の活性化、ひいては地域経済への貢献につながります。行政や地元自治会、民間が協力してのイベントなども自発的に増える可能性があり、地域の繋がりもより深くなるので、実現に向けて動いていただくよう要望いたします。



佐保川沿い遊歩道整備の課題

④ 地元自治体の声（令和 6 年 3 月にご意見をいただきました。）

奈良市大宮地区自治協議会

会長 吉岡 正志様

- ・桜並木という資産を利活用する提言に全面的に賛同します。道路整備などの安全策も講じるなど官民あげての協力が不可欠です。共創の精神で進めていきましょう。

奈良市大宮地区自治連合会

会長 長本 晶夫様

- ・桜祭りに関しては、非常に良い提案だと思います。地元の団体としては、地域の活性化につながることであり、協働して参りたいと思っています。

大安寺西地区自治協議会

大安寺西地区自治連合会

会長 古谷 頼和様

- ・提案に賛同致します。

あとがき

奈良Y E Gが奈良市に提言書を提出させていただくのは、今回で5年連続6回目となります。今年度はより柔軟に幅広く社会問題の対策を考えることを意識し、観光資源の活用に着目しました。その結果、多くの人がどうして実現できないのだろうと素朴な疑問を感じるような内容を取り上げることができました。役所など関係各所へ聞き取り調査を重ねることで、現状に落ち着いている様々な理由が判明しましたが、同時に難易度の違いはあれ、絶対にできないことはないと感じることもできました。

奈良県は今までの事業を見直すことに舵を切り、奈良市もJ R新駅や京奈和自動車道の開通が控えています。これらの大きな動きが、奈良の未来を明るくし、この提言書の内容が実現に向かうきっかけになり、観光だけでなく住民の皆様のためになることを願っております。

最後になりますが、提言書作成にあたりまして各方面の皆様方に多大なご助力をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。我々奈良Y E Gはこれからも多くの事業を通じて奈良の成長、発展に貢献してまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

提 言 委 員 会
所 長 松山 圭介

【企画・制作】

奈良商工会議所青年部 一同

【編集】

令和5年度 提言委員会

委員長 角谷 昇英

副委員長 西川 成悟・吉野 真以

委員 大澤 和・太田 晃司・貝本 堅・佐々木 大樹・寺西 壮平
中嶋 雄一・薮内 秋人



奈良商工会議所青年部